

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2004-518725(P2004-518725A)

【公表日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2002-564509(P2002-564509)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/42 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 213/65 (2006.01)

C 0 7 D 215/20 (2006.01)

C 0 7 D 215/22 (2006.01)

C 0 7 D 217/02 (2006.01)

C 0 7 D 241/44 (2006.01)

C 0 7 D 263/56 (2006.01)

C 0 7 D 263/58 (2006.01)

C 0 7 D 277/62 (2006.01)

C 0 7 D 277/64 (2006.01)

C 0 7 D 277/66 (2006.01)

C 0 7 D 277/68 (2006.01)

C 0 7 D 277/82 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 209/42

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/498

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 39/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 0 7 D 213/65

C 0 7 D 215/20

C 0 7 D 215/22

C 0 7 D 217/02
 C 0 7 D 241/44
 C 0 7 D 263/56
 C 0 7 D 263/58
 C 0 7 D 277/62
 C 0 7 D 277/64
 C 0 7 D 277/66
 C 0 7 D 277/68
 C 0 7 D 277/82
 C 0 7 D 417/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

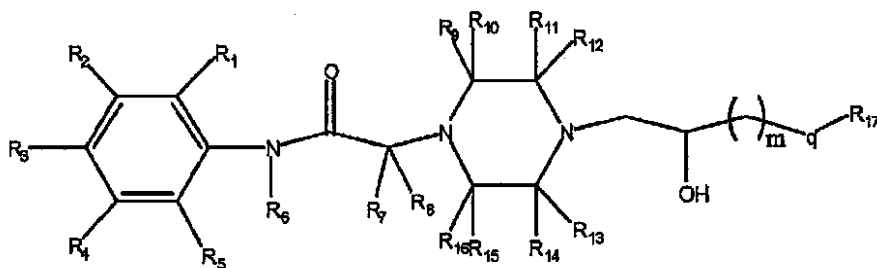
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化 1 で表される 化学式 を有する置換ピペラジン化合物。

【化 1】



(ここで、式中の m は 1、2 または 3 で、

q は NH、O または S で、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は、各々独立に、水素、ハロ (halo)、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $\text{N}(\text{R}^{20})_2$ 、 $\text{S}(\text{O})\text{R}^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $\text{SO}_2\text{N}(\text{R}^{20})_2$ 、 $\text{NR}^{20}\text{CO}_2\text{R}^{22}$ 、 $\text{NR}^{20}\text{CON}(\text{R}^{20})_2$ 、 COR^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $\text{CON}(\text{R}^{20})_2$ 、 $\text{NR}^{20}\text{SO}_2\text{R}^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、及びヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基はハロ (halo)、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $\text{N}(\text{R}^{20})_2$ 、 $\text{S}(\text{O})\text{R}^{22}$ 、及び SO_2R^{22} よりなる群から選択される任意の 1 置換基で置換されていてもよく、また、 R^1 と R^2 又は R^2 と R^3 又は R^3 と R^4 又は R^4 と R^5 は、それらが結合している炭素と一緒にあって、場合によりアルキル、トリフルオロアルキル、アルコキシ、又はハロゲンで置換されていてもよい 6 員芳香環を形成してもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 CO_2R^{20} 、 $\text{CON}(\text{R}^{20})_2$ 、 C_{1-4} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 $\text{N}(\text{R}^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $\text{CON}(\text{R}^{20})_2$ 又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボ

ニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよいヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^{20} は、 H 、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノ - もしくはジアルキルアミノ、アルキル、 CN 、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、そして、 R^{22} は、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノアルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルアミド、アリールアミド、ヘテロアリールアミド、 CN 、 $O-C_{1-6}$ アルキル、 CF_3 又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 2】

q が NH 又は O であることを特徴とする請求項 1 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、又は C_{1-4} アルキルよりなる群から選択され、ここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよいヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、 H 、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノアルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキル、 CN 、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 3】

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニル、又は C_{2-5} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、又は C_{1-4} アルキルよりなる群から選択され、ここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、 R^{17} は、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよいヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、そして、 R^{20} は、H、 C_{1-8} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-O-C_{1-3}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、ことを特徴とする請求項 1 の化合物。

【請求項 4】

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-3} アルキル、 C_{2-3} アルケニル、又は C_{2-3} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキルは場合により CF_3 で置換されていてもよく、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、ここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、 R^{17} は、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-3} アルケニル、 C_{2-3} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよいヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、そして、 R^{20} は、H、 C_{1-5} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-OMe$ 、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、請求項 1 の化合物。

【請求項 5】

m が 1 であることを特徴とする請求項 1 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、ここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、 R^{17} は、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-5}

$C_1 - C_3$ アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよいヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 $C_1 - C_3$ アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-OMe$ 、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。))

【請求項 6】

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 COR^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 $C_1 - C_{15}$ アルキル、 $C_2 - C_{15}$ アルケニル、 $C_2 - C_{15}$ アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよい、N、O、又は S よりなる群から各々選択される、1 ~ 5 個のヘテロ原子を含む縮合 6, 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から独立に選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、

ことを特徴とする請求項 1 の化合物。

【請求項 7】

q が NH 又は O であることを特徴とする請求項 6 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $C_1 - C_8$ アルキル、 $C_2 - C_8$ アルケニル、 $C_2 - C_8$ アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は $C_1 - C_3$ アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 $C_1 - C_4$ アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 $C_1 - C_{15}$ アルキル、 $C_2 - C_{15}$ アルケニル、 $C_2 - C_{15}$ アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよい、N、O、及び S よりなる群から各々選択される、1 ~ 4 個のヘテロ原子を含む縮合 6, 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 $C_1 - C_{15}$ アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノア

ルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキル、CN、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項8】

qがNH又はOであることを特徴とする請求項6の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニル、又は C_{2-5} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、又は R^1 と R^2 又は R^2 と R^3 又は R^3 と R^4 又は R^4 と R^5 は、それらが結合している炭素と一緒に、場合によりアルキル、トリフルオロアルキル、アルコキシ、又はハロゲンで置換されていてもよい6員芳香環を形成してもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $N(R^{20})_2$ 、及びアリールよりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよく、またここで R^9 と R^{10} は一緒に、カルボニルを形成してもよく又は R^{11} と R^{12} は一緒に、カルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒に、1～3個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される1～2個の置換基で置換されていてもよい、N、O、又はSよりなる群から選択される、1～3個のヘテロ原子を含む縮合6, 5員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合により、独立にハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 C_{1-8} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-O-C_{1-3}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項9】

qがNH又はOであることを特徴とする請求項6の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-3} アルキル、 C_{2-3} アルケニル、又は C_{2-3} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $N(R^{20})_2$ 、又はアリールよりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよく、またここで R^9 と R^{10} は一緒に、カルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒に、1～3個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-4} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される1～2個の置換基で置換されていてもよい、N、O、又はSよりなる群から選択される、1～2個のヘテロ原子を含む縮合6, 5員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は独立にハロ、 CF_3 、又は OR^{20} よりなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 C_{1-5} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-OMe$ 、又は CF

3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 10】

q が NH または O であることを特徴とする請求項 6 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、またここで R^2 と R^3 は、それらが結合している炭素と一緒にあって、場合によりアルキル、トリフルオロアルキル、アルコキシ、又はハロゲンで置換されていてもよい 6 員芳香環を形成してもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、

R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により $N(R^{20})_2$ 、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、又はここで R^9 と R^{10} は一緒にあってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、N、O、又は S よりなる群から選択される、1 ~ 2 個のヘテロ原子を含む縮合 6 , 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は独立にハロ、 CF_3 、又は OR^{20} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、-OMe、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 11】

q が O であり、

そして、 R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、インドール、ベンゾチアゾール、及びベンゾオキサゾールよりなる群から選択される縮合 6 , 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、又は OR^{20} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、

ことを特徴とする請求項 10 の化合物。

【請求項 12】

q が O であることを特徴とする請求項 10 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 CF_3 、 OR^{20} 、又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、ここで R^2 と R^3 は、それらが結合している炭素と一緒にあって、場合によりアルキル、トリフルオロアルキル、アルコキシ、又はハロゲンで置換されていてもよい 6 員芳香環を形成してもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、ここで R^9 と R^{10} は一緒にあってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、インドール、ベンゾチアゾール、及びベンゾオキサゾールよりなる群から選択される縮合 6 , 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H 又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択される。)

【請求項 13】

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、インドール、ベンゾチアゾール、及びベンゾオキサゾールよりなる群から選択される縮合 6 , 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

0)₂、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよいベンゾチアゾールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、ことを特徴とする請求項 12 の化合物。

【請求項 14】

R^{17} は、場合により水素、メチル又はフェニルよりなる群から選択される 1 個の置換基で 2 - 位が置換されていてもよいベンゾチアゾールであることを特徴とする請求項 12 の化合物。

【請求項 15】

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい 5 - 置換ベンゾチアゾールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^{20} は、H 又はメチルよりなる群から選択される、ことを特徴とする請求項 12 の化合物。

【請求項 16】

R^{17} は、場合により水素、メチル又はフェニルよりなる群から選択される 1 個の置換基で 2 - 位が置換されていてもよい 5 - 置換ベンゾチアゾールであり、そして、 R^{20} は、H 又はメチルよりなる群から選択される、ことを特徴とする請求項 12 の化合物。

【請求項 17】

q が 0 であることを特徴とする請求項 12 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 OR^{20} 、又はメチルよりなる群から選択され、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^{11} 及び R^{15} は各々水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 及び R^{16} は各々水素であり、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、2 - 位がメチルに置換された 5 - 置換ベンゾチアゾールであり、そして、 R^{20} は H である。)

【請求項 18】

q が 0 であることを特徴とする請求項 12 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 OR^{20} 、又はメチルよりなる群から選択され、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^{11} 及び R^{15} は各々水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 及び R^{16} は各々水素であり、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、2 - 位がフェニルに置換された 5 - 置換ベンゾチアゾールであり、そして、 R^{20} は H である。)

【請求項 19】

q が 0 であることを特徴とする請求項 12 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 OR^{20} 、又はメチルよりなる群から選択され、またここで R^2 と R^3 は、それらが結合している炭素と一緒にあって、場合によりアルキル、トリフルオロアルキル、アルコキシ、又はハロゲンで置換されていてもよい 6 員芳香環を形成してもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^{11} 及び R^{15} は各々水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 及び R^{16} は各々水素であり、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボ

ニルを形成してもよく、

R^{17} は、2 - 位がメチルに置換された 5 - 置換ベンゾチアゾールであり、
そして、 R^{20} は H である。)

【請求項 20】

R^{17} が、2 - 位がメチルに置換された 5 - 置換ベンゾチアゾールである、請求項 6 又は 7 又は 8 又は 9 又は 10 又は 11 あるいは請求項 12 又は 13 又は 14 又は 15 又は 16 の化合物。

【請求項 21】

R^{17} が、2 - 位がフェニルに置換された 5 - 置換ベンゾチアゾールである、請求項 6 又は 7 又は 8 又は 9 又は 10 又は 11 又は 12 又は 13 又は 14 又は 15、又は 16 の化合物。

【請求項 22】

R^{17} が、場合により水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 COR^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよい、1 ~ 4 個の窒素原子を含む縮合 6, 6 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、ことを特徴とする請求項 1 の化合物。

【請求項 23】

q が O であることを特徴とする請求項 22 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-4} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 及びアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、 R^{20} は、H、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノアルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキル、 CN 、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 24】

q が O であることを特徴とする請求項 22 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニル、又は C_{2-5} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $N(R^{20})_2$ 、及びアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、あるいはここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、1 ~ 3 個の窒素原子を含む縮合 6 , 6 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は独立にハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H、 C_{1-8} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-O-C_{1-3}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 25】

q が O であることを特徴とする請求項 22 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 OR^{20} 、又はメチルよりなる群から選択され、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、又は R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、場合によりメチルで置換された 1 ~ 2 個の窒素原子を含む縮合 6 , 6 員環系であるヘテロアリールであり、

そして、 R^{20} は H である。)

【請求項 26】

q が O であることを特徴とする請求項 22 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々水素であり、

R^{17} は、場合によりメチルで置換された 1 ~ 2 個の窒素原子を含む縮合 6 , 6 員環系であるヘテロアリールである。)

【請求項 27】

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 COR^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよい、N、S、又は O よりなる群から選択される、1 ~ 3 個のヘテロ原子を含む 5 又は 6 員環系であり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、

ことを特徴とする請求項 1 の化合物。

【請求項 28】

q が O であることを特徴とする請求項 27 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-4} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、また R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{13} と R^{14} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{15} と R^{16} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、 R^{17} は、場合により水素、ハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、 SO_2R^{22} 、 $SO_2N(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}CO_2R^{22}$ 、 $NR^{20}CON(R^{20})_2$ 、 COR^{20} 、 CO_2R^{20} 、 $CON(R^{20})_2$ 、 $NR^{20}SO_2R^{22}$ 、 C_{1-15} アルキル、 C_{2-15} アルケニル、 C_{2-15} アルキニル、ヘテロシクリル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよい、N、S、又は O よりなる群から選択される、1 ~ 3 個のヘテロ原子を含む 5 又は 6 員環系であり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 NO_2 、 CF_3 、 CN 、 OR^{20} 、 SR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $S(O)R^{22}$ 、又は SO_2R^{22} よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、 R^{20} は、H、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノアルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキル、 CN 、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、そして、 R^{22} は、 C_{1-15} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、アルキル、モノアルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルアミド、アリールアミド、ヘテロアリールアミド、 CN 、 $-O-C_{1-6}$ アルキル、 CF_3 又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 29】

q が O であることを特徴とする請求項 27 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニル、又は C_{2-5} アルキニルよりなる群から選択され、ここでアルキル置換基は場合により CF_3 で置換されていてもよく、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々独立に、水素又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択され、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $N(R^{20})_2$ 、及びアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、またここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、又は R^{11} と R^{12} は一緒になってカルボニルを形成してもよいが、ただし R^{11} と R^{13} 又は R^9 と R^{15} 又は R^9 と R^{11} 又は R^{11} と R^{15} 又は R^9 と R^{13} は、一緒になって 1 ~ 3 個の炭素原子を含む環を形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、N、S、又は O よりなる群から選択される、1 ~ 3 個のヘテロ原子を含む 5 又は 6 員環系であり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、そして、 R^{20} は、H、 C_{1-8} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択され、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 $-O-C_{1-3}$ アルキル、又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい。)

【請求項 30】

R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-8} アルキル、 C_{2-8} アルケニル、 C_{2-8} アルキニル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、1 ~ 2 個の窒素原子を含む 6 員環であり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、ことを特徴とする請求項 29 の化合物。

【請求項 31】

q が O であることを特徴とする請求項 30 の化合物。
(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 OR^{20} 、又はメチルよりなる群から選択され、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、又は R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、 R^{17} は、場合によりメチルで置換されていてもよい、1 ~ 2 個の窒素原子を含む 6 員環であり、そして、 R^{20} は H である。)

【請求項 32】

q が O であることを特徴とする請求項 30 の化合物。
(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々水素であり、そして、 R^{17} は、場合によりメチルで置換されていてもよい、1 個の窒素原子を含む 6 員環である。)

【請求項 33】

q が NH であり、そして、 R^{17} は、場合により水素、ハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、 $N(R^{20})_2$ 、 $CON(R^{20})_2$ 、 C_{1-3} アルキル、アリール、又はヘテロアリールよりなる群から選択される 1 ~ 2 個の置換基で置換されていてもよい、N、O、又は S よりなる群から選択される、1 ~ 2 個のヘテロ原子を含む縮合 6, 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ、 CF_3 、 OR^{20} 、又は $N(R^{20})_2$ よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、請求項 10 の化合物。

【請求項 34】

q が NH である請求項 10 の化合物。
(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素、 CF_3 、 OR^{20} 、又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、 R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々独立に、水素

又は C_{1-2} アルキルよりなる群から選択され、又はここで R^9 と R^{10} は一緒になってカルボニルを形成してもよく、

R^{17} は、場合により水素、 CF_3 、 OR^{20} 、 C_{1-3} アルキル、又はアリールよりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよい、ベンゾチアゾール、及びベンゾオキサゾールよりなる群から選択される縮合 6, 5 員環系であるヘテロアリールであり、ここでアルキル及びアリール置換基は場合によりハロ又は CF_3 よりなる群から選択される 1 個の置換基で置換されていてもよく、

そして、 R^{20} は、H 又は C_{1-3} アルキルよりなる群から選択される。))

【請求項 35】

q が NH である請求項 10 の化合物。

(ここで、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は各々独立に、水素又はメチルよりなる群から選択され、

R^6 、 R^7 及び R^8 は各々水素であり、

R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は各々水素であり、そして、 R^{17} は、場合によりメチルで置換されていてもよい、ベンゾチアゾール、及びベンゾオキサゾールよりなる群から選択される縮合 6, 5 員環系であるヘテロアリールである。))

【請求項 36】

N - (2, 6 - ジメチル - フェニル) - 2 - (4 - {2 - ヒドロキシ - 3 - [2 - (3 - トリフルオロメチルフェニル) - ベンゾオキサゾール - 5 - イルオキシ] - プロピル} - ピペラジン - 1 - イル) アセトアミド、

2 - {4 - [3 - (ベンゾチアゾール - 2 - イルオキシ) - 2 - ヒドロキシ - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} - N - (2, 6 - ジメチルフェニル) アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチルベンゾチアゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

4 - (3 - {4 - [(2, 6 - ジメチルフェニルカルバモイル) - メチル] - ピペラジン - 1 - イル} - 2 - ヒドロキシ - プロポキシ) - 1 H - インドール - 2 - カルボン酸アミド、

2 - {4 - [3 - (ベンゾチアゾール - 6 - イルオキシ) 2 - ヒドロキシ - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} - N - (2, 6 - ジメチル - フェニル) アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル - ベンゾチアゾール - 6 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - {2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル - ベンゾチアゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル} - 3, 5 - ジメチル - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル - ベンゾチアゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} - N - (4 - ヒドロキシ - フェニル) アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - フェニル - ベンゾチアゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - フェニル - ベンゾオキサゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - フェニル - ベンゾチアゾール - 7 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

N - (2, 6 - ジメチルフェニル) - 2 - {4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル -

ベンゾチアゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - 2 - オキソ - ピペラジン - 1 - イル} アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル - ベンゾオキサゾール - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - (4 - { 2 - ヒドロキシ - 3 - [2 - (4 - トリフルオロメチル - フェニル) - ベンゾオキサゾール - 5 - イルオキシ] - プロピル } - ピペラジン - 1 - イル) アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (キノキサリン - 2 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (ピリジン - 3 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (キノリン - 4 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (イソキノリン - 5 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (キノリン - 6 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) - 2 - { 4 - [2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - メチル - キノリン - 7 - イルオキシ) - プロピル] - ピペラジン - 1 - イル } アセトアミド、

2 - { 4 - [3 - (ベンゾチアゾール - 2 - イルアミノ) - 2 - ヒドロキシプロピル] ピペラジニル } - N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) アセトアミド、および

2 - { 4 - [3 - (ベンゾオキサゾール - 2 - イルアミノ) - 2 - ヒドロキシプロピル] ピペラジニル } - N - (2 , 6 - ジメチルフェニル) アセトアミド

よりなる群から選択される化合物。

【請求項 37】

請求項 1 の化合物及び 1 以上の医薬用賦形剤を含んでなる、医薬組成物。

【請求項 38】

医薬組成物が溶液剤の形態であることを特徴とする請求項 37 の医薬組成物。

【請求項 39】

医薬組成物が錠剤又はカプセル剤よりなる群から選択される形態であることを特徴とする請求項 37 の医薬組成物。